

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

特集

かなやま湖太陽と森と湖の祭典

南の国の真夏に挑む体験の旅

新しい農業委員会委員が決まりました

カメラレポート

発信@みなくる

子育て支援センター



絵本を手にも子どもたちも大喜び(7月23日)

町商工会青年部(安西英紀部長)では、7月4日に開催したチャリティービールパーティーの益金の一部を活用して、幾寅・金山両保育所に絵本を寄贈されました。幾寅保育所で行われた贈呈式では、安西部長から子どもたちの代表者に絵本が手渡されると、「みんなで仲良く見ます。」と笑顔で話して大喜びしていました。

寄贈された絵本は、町商工会青年部が剣淵町商工会青年部との交流をきっかけとして、けんぶち絵本の里大賞入賞作品を購入して両保育所へ贈られたものです。また、町商工会青年部は、このほかにも、交通遺児募金や幾寅野球少年団、南富良野バレー少年団への寄附も行われました。



第3回目となる今回は、札幌市などから9組が出場し、会場内に設けられた9ヶ所のテントの中で、持ち歌を披露。会場に訪れた多くの若者や家族連れなどが、出演者の歌声に聞き入っていました。コンテストは、観客の皆さんの投票によって行われ、昨年に続いての出場となる男性2人組「とつぽ」が優勝。今後、剣淵町のイメージソングをつくることになっています。

このほか会場では、第2回優勝の「笑科書」の2人によるライブも行われ、会場を盛り上げていました。

町商工会青年部の安西英紀部長は、「今後も、ダム湖のある市町村で開催して、お互いに交流しながらまちの活性化につなげていきたい。」と話していました。

大勢の親子連れが七夕まつりを楽しむ (8月7日)

町商工会(曾慶一介会長)の主催による恒例の七夕まつりが幾寅駅前広場で開かれ、大勢の親子連れが参加して、七夕を楽しみました。

会場では、子どもたちがアイデアを凝らした作品を持ち寄って、ちょうちん作りコンテストが行われたほか、昨年かなやま湖で開催された第2回ライブダムで優勝した笑科書の2人も会場に駆けつけ、子どもたちと一緒に歌いながら商店街を回りました。子どもたちはろうそくとたくさんのお菓子をもらい、大喜びしていました。また、会場では、露天が出店したほか、笑科書のミニコンサート、花火大会などが行われ、参加した親子連れの皆さんは、楽しい一夜を過ごしました。



本町発祥の「ライブダム」今年も剣淵町で開催 (8月10日)

町商工会青年部がまちおこしイベントとして企画して、平成18年から開催されている「ライブダム」。今年は、剣淵町の桜岡キャンプ場を会場に「ライブダム・イン・絵本の里けんぶち」として開催されました。

ライブダムは、町商工会青年部が、「かなやま湖のイメージソングをつくってまちおこしをしたい」「ダム湖のあるまちのネットワークをつくり、まちの活性化につなげたい」という思いから始まったイベントで、道内のアマチュアミュージシャンによる路上ライブコンテストを開催してきました。今年は、町商工会青年部が、本町以外でダム湖のある市町村での開催を検討していたところ、剣淵町のまちおこし団体「絵本の里ミーティング」が誘致し開催が実現。町商工会青年部の皆さんも会場に向いて運営に協力しました。